

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターおひさま2（児発）		
○保護者評価実施期間	令和7年8月1日		～ 令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	令和7年8月1日		～ 令和7年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害（知的・情緒など）別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人（保護者など）との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができている。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。
3	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・家族通園の方法により、安心した環境の中で活動に参加し、保護者の方は子ども理解や子どもの発達段階にあった関わりを知ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労している保護者の方や兄弟がいる家庭が利用しやすいような環境を考えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟児や就労している保護者にとっては利用しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと向き合える社会や働きやすい環境を整える社会になって欲しい。
3	施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件により使用用途や環境構成に限界がある。 ・築年数が古い建物になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ改修工事を行う予定です。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービスセンターおひさま2 (児発)
------	------------------------

公表日 令和8年2月17日

利用児童数 令和7年11月1日 12人

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				・無駄なものがなく十分なスペースが確保されている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1			・基本は適切な人数で支援して下さっている。 ・やはり手のかかる子に先生が付くため、放置されている事があるのが気になる。	加算の職員を配置しています。今後も活動内容や子どもたちの状況に応じて職員体制を考えていきたいと思っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				子どもたちが安心して生活できるよう環境を整えていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1			・先生方が掃除して下さる姿をよく見る。活動に合わせて工夫して下さっている。 ・いつも綺麗です。	今後も活動後は掃除を行い、心地よく過ごせるように環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				・専門の先生とそれぞれの先生方が連携をとって支援して下さっている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					懇談会を通して、保護者の方に周知していきたいと思っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				・1人ひとりをしっかり見て下さっている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				・子どもの成長、ニーズに合わせた支援が設定されている。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					子どもたちの状況に合わせて、今後も発達を促すあそびを提供していきたいと思っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				・同じ活動でも、やり方や過程を変えて工夫されている。 ・毎月色々な活動あって、子どもも飽きることなく楽しむことができます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11				・連絡会でのやり取りがあり助かっている。	保育園の園庭を活動で使用する際に交流が図れるようにしています。事業所としては、交流の機会は設けていませんが、登録児全員の利用児は幼稚園・保育園・認定こども園に併行通園しています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11						
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11					・以前相談したことも、ちょこちょこ気にかけて下さっています。 ・情報交換ができ、楽しみにしている。	個別で話す時間を設けて、子どもの状況を共通理解し、共通認識の元支援できるように心掛けています。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					・面談が無い時でも日頃からちょっとした悩み等にも助言して下さっている。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				・先生方はいつも親身になってくれます。 ・悩みを相談しやすい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1			・分離の時や懇談会のフリートーク等で保護者同士の交流はできている。 ・懇談会で、他のお母さんから、先々の情報を聞ける機会があるのが有難いです。	放課後等デイサービスと合同での懇談会を通し、交流が図れるように今後も計画をしていきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		懇談会等の行事や契約時にお伝えするようにしています。振り返り等でも伝えていきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					取り扱いには十分注意を払い、対応します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					事業所として月1回避難訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				・定期的に避難訓練があり、非常時にも備えられている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				・ちょっとした怪我等の時もすぐに処置して下さり、説明もはっきりして下さい。 ・小さな怪我等でもすぐに対応や報告があるので、有難いです。	怪我があった際は、すぐに職員間で情報共有を行い、外傷の対応や保護者の方への伝達出来るようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				・子どもはおひさまの先生が大好きです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				・いつも楽しみにしています。 ・とても楽しみにしている。	子どもたちが楽しいと思えるように今後も活動していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスセンターおひさま2 (児発)				公表日	令和8年2月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて密にならないように活動を行っています。また、親子通園の際に込み合うことがある為、子どもの様子や状況を見て工夫しています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を満たし、活動を行っています。定期的に専門職の先生にも来ていただいています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			活動室と分離室を分ける等、物的環境を整えていますが、段差がある等設備が不十分なところがあります。今後、設備を整えていきたいと思えます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動終了後、掃除を行っています。定期的に玩具の消毒を行うことや加湿器や空気清浄機の設置をすることで安心して活動に参加できるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個々の状況に合わせて、更衣室等必要に応じて場所を作るようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して改善しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も年1回アンケートを行い、改善に努めます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や月1回の会議で話し合う場があり、業務の改善に繋げるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		法人の第三者委員より意見をもらっています。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページの掲載や懇談会で保護者に説明をしています。また、契約時に配布し説明しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通して、ニーズに基づく計画作成を行っています。外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援に関わる職員と話し合い、計画作成を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元支援ができるようにしています。		
	15	こどもの通称行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動を把握することや状況に応じて感覚プロファイル等を実施しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。		

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		案を元に参加スタッフ全員で行っています。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事等も取り入れながら、月の計画が固定化されないようにしています。また、月齢や子どもの様子に合わせた活動を工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に合わせて、活動内容等を変えて活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元支援できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後に保護者と振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録、全体記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議や関係機関との連携は子どもの状況を理解している職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			併行通園先とは連携が図れていますが、他の関係機関とも連携を図ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年2回の幼保連絡会を行い連携を図っています。必要に応じて電話や園に訪問し連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼保小連絡会での情報共有や移行支援シート等活用して相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		多機関勉強会に参加することや連絡会への参加や公開療育等を通して連携を図っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。登録児全員が、幼稚園、保育園、認定こども園に就園しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		基本家族通園で活動し、年4回の懇談会を通して講師や専門職を招いての勉強会や活動後に振り返りの時間を設けています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、書類もお渡ししています。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		振り返りや保護者からの相談の際に話を聞き、思いを確認するようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談の時間を設け、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は設立していませんが、分館の活動や懇談会、行事を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。また、きょうだい同士の交流は行事等を通してできるようにしています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時相談を受け入れられる体制を整え、相談に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等でお知らせしています。25日まではアップできるよう心掛けています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			感染症流行後、地域との関わりも薄くなってしまった為、今後地域との交流を持ち協力しながら関係性を築いていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全計画を作成し、掲示等を通して周知しています。また、年に1回総合避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		事業所としては毎月避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認を行い、毎年連絡表に記載してもらっています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子さんは、医師の指示の元、除去食の提供をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画をもとに、火災や地震を想定した訓練を各グループで行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明を行い、書類を配布しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に、身体拘束についての同意説明を行っています。また個別支援計画に記載していますが、基本身体拘束は行っていません。		